

新時代の新たな学校づくり

平成29年2月

磐田市は、小中一貫教育、コミュニティ・スクールのさらなる推進やよりよい教育環境の充実を図り、たくましい子どもたちを育てるために、22世紀に向けて約30年先を見据えた「新時代の新たな学校づくり」に取り組みます。

磐田市教育委員会

これからの子どもたちが生きる時代 ~ 新時代の到来

(1) 知識基盤社会

- ・グローバル化の進行の中で、価値観やライフスタイルが多様化

(2) 技術革新への影響

- ・人工知能等の技術革新の急速な進化

(3) 予測できない国際情勢

- ・予想外のことが多発している国際情勢

(4) 高度情報化

- ・情報の氾濫、会話によるコミュニケーションの低下

(5) 少子高齢化

- ・個々人の孤立化、人間関係の希薄化、地域コミュニティの衰退



磐田市の現状

(1) 児童生徒数の変動

- ・児童生徒数も減少、10年後は1万人、20年後は9,000人を下回る可能性

(2) 地域コミュニティ

- ・自治会における年齢別人口の偏り、加入率の低下

(3) 小中一貫教育・・・平成28年度に全学府で本格実施

- ・学府の特徴を生かした小中一貫教育の推進
- ・「磐田市版英語モデルカリキュラム」を活用した小学校1年生からの外国語活動

(4) コミュニティ・スクール・・・平成27年度に全校実施

- ・学校運営協議会や学府協議会の実施
- ・コミュニティ・スクールディレクター活用

(5) 学校施設

- ・校舎の老朽化率は89%





変化の激しい時代の中で
私たちの求める人づくりは

規模の適正化、学校の再編ではなく、
22世紀に向けた新たな学校のモデルづくり

「たくましい磐田人(いわたびと)」を育てること

求める学校像の議論

- ・小中の壁を超え、人と人とのつながりを大切にしたい学校
- ・地域学習・体験学習など、地域に開かれた、地域ぐるみで子どもの成長を支える学校
- ・9年間の発達段階を考えたカリキュラムをもつ学校
- ・学校教育のみではなく、他と連携する学校

求める子ども像の議論

- ・自らの意志で選択できるころざしをもった子ども
- ・人間的なつながりを意識し、共に生きることができ子ども
- ・多様性に対応できるたくましさをもった子ども
- ・自分のもつ可能性を信じ、たくましく生きていく子ども

子どもの可能性を伸ばす

学びの可能性

人としての可能性

子どもが変わる

磐田ならではの 学府一体校の推進

未来に向けた学校づくりへの教職員の意識改革
教師が変わる

未来型学府一体校
向上型学府一体校
充実型学府一体校

子どもの実態、地域の実態をもとに、
地域力を生かした、社会に開かれた学校づくりを行う

学校づくりは地域づくり
地域が変わる

22世紀に向けた学校づくりが、最善の今を創る

9年間の新カリキュラムをもつ 多機能型学校

- ・発達段階等を考慮した学年区分をもつ学校
- ・地域や学校の特色を生かした学校
- ・小中の教員の専門性を生かした学校
- ・ステージ制など子どもの成長を捉えた学校
- ・社会教育施設等を含んだ学校

人と人とのつながりを深める

- 子どものつながりを深める
 - 地域とのつながりを深める
 - 教員のつながりを深める
- 人間的なつながりの希薄化が予想される現在、子ども同士の交流、子どもたちと地域の人たちとの交流、子どもを理解することを大切にしたい教員同士の連携を大切にする。

新時代の新たな学校づくりの次年度以降の課題は・・・

- ・発達段階の特性に対応したカリキュラム（4-3-2制、5-4制等）の開発
- ・不登校に対応できるカリキュラム（4-3-2制、5-4制等）の開発
- ・学府の特徴に応じたカリキュラム（4-3-2制、5-4制等）の開発
- ・自己選択できる発展的学習・探究的学習の工夫
- ・自己選択できる学び直し、補足的な学習の工夫

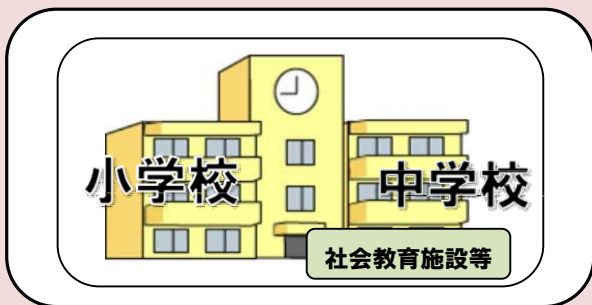
人間力向上プログラム（そろばん・食育・道徳等）の試行
教育委員会事業



地域の実態に対応する学府一体校の形態

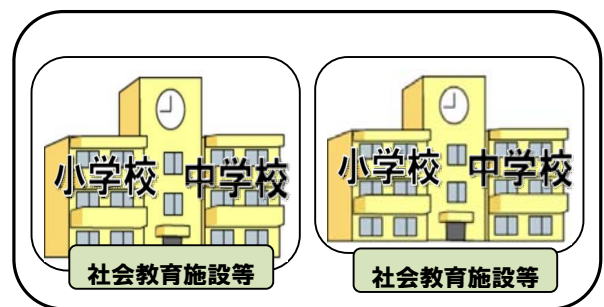
磐田市には10の学府が存在し、それぞれが安定した地域力をもとに特徴ある教育を展開しています。地域の強みを生かし、9年間の新カリキュラムをもつ多機能型学校として、その形態を以下に示します。

未来型学府一体校Ⅰ（A型）



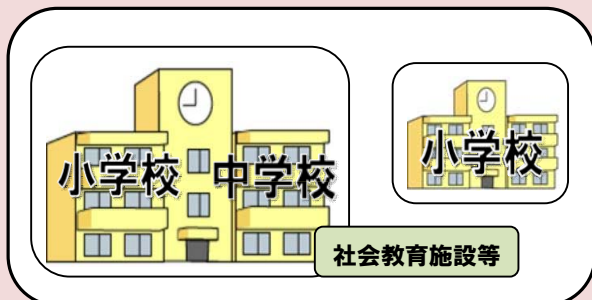
☆各学府にある小学校と中学校をすべて、施設一体型として一つの敷地に設置するもの

未来型学府一体校Ⅱ（A'型）



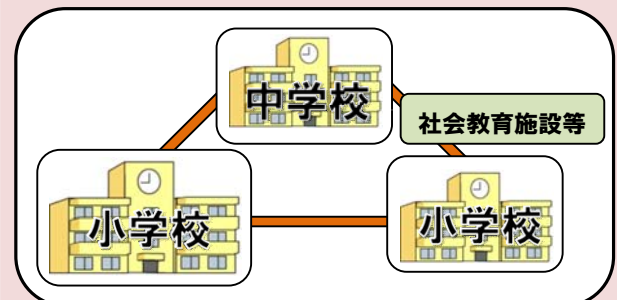
☆中学校を二つに分け、既存小学校区それぞれに、施設一体型として設置するもの

向上型学府一体校（B型）



☆学府内に施設一体型の小中学校と既存施設で運営する小学校が存在するもの

充実型学府一体校（C型）



☆現在行われているように、既存施設のまま小中一貫教育を推進し、社会教育施設を含むもの